

参加者が少数の場合、天災、その他の不可抗力の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。

プログラム内容

1. はじめに

2. 監査計画の意義

- ー内部監査基準における位置づけ
- ー監査実施計画と監査門計画
- ー中長期計画、年次計画、個別監査実施計画

3. リスクアプローチと監査計画

- ーリスクアプローチとは
- ーリスクアプローチによる監査計画の策定

4. リスクアプローチによる監査計画策定のポイント

- ー監査方針の決定
- ー監査対象領域（監査対象テーマ、監査対象の業務・部門など）
- ーリスクアプローチの注意点
- ー監査資源の配賦
- ー監査スケジュール
- ー監査計画と監査手続
- ー監査チームの編成
- ーその他

5. 今後の内部監査の課題

- ーCAAT（コンピュータ支援監査技法）、アジャイル型監査の導入等
- ー内部監査の品質評価と監査計画

6. 質疑応答

※島田裕次先生著「内部監査の実践ガイド」（日科技連出版社）を差し上げます。また、当日教材としても使用いたします。

*出張研修も承っております。表面のお申込先までお問い合わせください。

講師プロフィール

東洋大学工業技術研究所客員研究員 公認情報システム監査人／公認内部監査人
(元)東京ガス(株) 監査部情報システム監査グループマネージャー

しまだ ゆうじ
島田 裕次氏

1979年早稲田大学政治経済学部卒業、同年東京ガス(株)入社、IT部門、監査部、経理部などで勤務し、2009年～東洋大学総合情報学部教授、2022年退職、現在、東洋大学工業技術研究所客員研究員。1999年より日本大学商学部非常勤講師兼務。博士（工学）、情報処理技術者試験委員、システム監査技術者（経済産業省）、公認情報システム監査人（CISA）、公認内部監査人（CIA）、公認情報セキュリティマネージャー（CISM）。

（著書）『はじめての内部監査』（日科技連出版社）、『個人情報保護法への企業対応』（日科技連出版）、『内部監査の実践ガイド』（日科技連出版社）、『リスク図による情報セキュリティ監査の実践』（同文館出版）、『情報セキュリティ・個人情報保護のための内部監査の実務』（編著 日科技連出版社）、『システム監査の実務解説（第3版）』（同文館出版）。『情報セキュリティの基本』（日本実業出版社）。